

宇部労働基準監督署管内の労働災害発生状況

1 令和3年「業種別・署別・年別労働災害発生状況（令和3年4月末現在）」について

令和3年の4月末現在の労働災害発生件数は112件です。

この件数に新型コロナウイルス感染症に係る労働災害件数が49件含まれており、この49件を除くと63件となります。

この件数は、前年同時期から比べると34%増加と災害件数は多くなっており、（前月比-1%）

4月中で報告された死傷報告の中で、最も多かったのが転倒災害の6件であり、依然として転倒災害が多い状況であります。

また、墜落・転落災害も2件発生しており、うち、1件は、脚立を使用している時の災害です。

厚生労働省では、令和3年3月17日付け基安安発0317第1号をもって労働基準局安全衛生部安全課長から【リーフレット「はしごを使う前に／脚立を使う前に」を活用した墜落・転落災害防止の徹底について】として各団体に周知文を送付しております。

各事業場におかれましても、「はしごを使う前に／脚立を使う前に」のリーフレットのチェックリストを活用して災害防止に努めていただければと思います。

2 令和2年における年齢別の災害発生状況について

宇部労働基準監督署管内で発生した労働災害において、年齢別で災害が多い年齢の順番を確認したところ、

- | | | |
|---|---------|-----|
| 1 | 60歳以上 | 65人 |
| 2 | 40歳～49歳 | 48人 |
| 3 | 30歳～39歳 | 39人 |

となっており、全業種で見たときに60歳以上の労働者の災害が1番多く、全体に占める割合は、30.4%となっております。

このことからエイジフレンドリーガイドラインに沿った災害防止を検討することが必要と思われます。